

せめんとト藁灰汁

著者

編輯

土木學會誌

第二卷第三號

大正五年六月

著者 工學士 茂庭忠次郎

せめんとト藁灰汁ナル報告其動機トナリ三池森垣兩學士ノ施行ニ係ル精密ナル實驗成績ノ發表アリ多大ナル御示教ヲ得タルハ著者ノ光榮トスル所ナリ而シテ兩學士ノ御意見共ニ著者ノ論旨ト略々同様ニシテ藁灰汁ハせめんとノ硬化並ニ強度ニ對シテ多少ノ影響ヲ及ホスハ事實ナレトモ其程度微少ナルヲ以テ被覆物トシテ藁ヲ使用スルモ實際ニ於テ支障ヲ感セサル可シトノ意見ニ一致セリ特ニ三池學士ハ其影響ヲ主トシテ燐酸ノ作用ニ在リトナシ且ツ此現象ハ時ノ問題ニシテ質ノ問題ニ非ラス藁液ノ成分ハせめんとノ硬化ヲ妨害スルモ其變化ハ一時的ニシテ永久的ニ非ラスト結ハレシハ藁莖使用者ノ大ニ意ヲ強フスルニ足ル所ナリト雖モ一面ニ於テハ尙攻究ノ餘地ナシトセス暫ク記シテ後日ノ研究ニ俟タント欲ス(完)